

## 細部にこだわる！

令和7年5月12日

### 新人戦・春季選手権・インハイ東部予選3冠は初！

高校3年生にとっては、部活動は大事な時期を迎えている。もちろん、部活動をやっていない生徒にとっても、1年間のスタートの大事な時期である。さらに、3年生の背中を見て、1、2年生のメンタルが一回り遅くなる高校生らしく、集団から学ぶことのできる時期とも言える。いくつか部活動の大会等を見せていただいた。

**陸上部**、県大会以降に進む生徒も多いと思うがPTA会長から見所を聞いておいてスタンドから観戦。陸上は自分と向き合うスポーツだと、ピンク色を探しつつ、生徒の横顔を見ながら感じた。男子1600mリレーの激走は、最もおいしいところを見せていただいたのだと思う。**女子バレー部**の初戦は知徳・沼津中央、保護者と一緒に応援した。「うちの子もですよ」と私に紹介してくれる保護者の声は、何よりの応援だと思ったし、必死にボールを追う姿に私の熱も入った。**女子バスケット部**の宮西戦、近隣校ならではの熱の入りで、双方のメンバーを知っているのか「〇〇上手くなった」など周りの生徒まで試合に入り込んでいた。ほんのわずかの差で悔しい結果だった。**男子バドミントン部**の富士見戦、事前に聞いた力の差は試合では全く感じなかったし、冷静な中にも、負けるものかという粘り強さを見せてもらい、生徒は「部活動やっていて良かった」と思えるだろうと想像した。**女子バドミントン部**の体育館での様子、悔しさと試合の余韻なのか体育館の壁に座り込む姿と、何も言わないで横に座る顧問、その様子に感動した。こちらの涙がでた。試合に間に合わなくてごめんなさい。

GWど真ん中には、**サッカー部**の富士東戦、攻守の切り替えの早さと、ボールを失わない、ボールを奪う最後の一步は本校の方が上回っていたと思う。背中を押す顧問と試合中の仲間同士の檄は、胸を打つものがあつた。**弓道部**は、武道らしく礼節を重んじる。的に当たった時の「よしっ」の声は、どの学校にも負けないハリのある声が出ていて、本当に嬉しかった。

そして、新人戦、春季選手権、インハイ東部予選で**勝ち切った男子バレー部**。3冠は、本校史上初めてのことであるという。男子バレー部の一つ一つの動き、集中力の高まりと勝負へのこだわり、喜ぶプレーの質が他校とは違って見えた。それは、素人でも、ゲームの流れを感じるが、いざという瞬間には、必ず「獲る」。力のある選手はいるかもしれないが、他校もそういう選手はいる。やはり、細部まで気を配る監督の普段の指導の賜物だと思う。そして誇らしかった。

ドイツの建築家が使ったといわれる「神は細部に宿る」という言葉。使い方は難しいが、決して、細かなことまで気をつけなさいということではなく、より高いレベルにあがっていきこうとする時には、日頃から細かな部分にまでこだわって目標を目指すことで、全体のレベルアップが成し遂げられるという意味に考えることができる。

生徒は、先生やコーチの専門的な指導だけを見ているのではない。何をどこまでこだわっているのか、そういう姿勢を生徒は見てると私は思う。どの先生も熱心に、心を傾けて関わっていただいていることがよくわかる。そういう顧問の心が伝わるのが学校教育における部活動の一つの意義であり、教育的な価値がある。保護者、地域の皆様には、そこも評価いただきたいと心から願う。まだまだ、これからも富士宮北高校の生徒、教職員の活躍を見て、細部まで紹介していきたい。

### 伝えられていくこと

「神は細部に宿る」ことを、5月5日に参列した「流鏝馬祭」で体感した。流鏝馬祭は、「流鏝馬祭本祭」「浅間大社流鏝馬式」「流鏝馬祭練行」「神事流鏝馬式」、本祭では甘葛奉獻、氏子奉幣など一連の流れを追った。その神事の意味を一日中考え続けることになる。形式的とはいえ、手を抜くことは許されず、神聖さを保つ。だからこそ、伝えられていくと思う。タイパという言葉を目にすることも多いが、教育も、細部まで手を抜かず生徒に寄り添いたいと思った1日であった。



## 富士宮北高校から見える富士山

静岡県では、校長協会が「学校から見える富士山」という企画を立て、公立高校から写真を募集した。まとめて、広報活動の動画を作成する予定。そこで、本校から写真部、写真好きの望月教諭に依頼して撮影していただいた。その写真の1つが右のもの。構図が格好いいと思いませんか？本校から4枚提出した。「富士宮北高校から見える富士山」、良い写真があったら、ぜひ、校長室にいただきたい。(今回は募集終了)



## こだわって、こだわって、こだわって

現在、国(文部科学省)では、次期学習指導要領の検討が諮問され、中教審にて議論が始まっている。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/101/index.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/101/index.html)

この中で、戸田市教育委員会の戸ヶ崎勤教育長という方が、戸田市における事例を発表している。この戸ヶ崎教育長率いる戸田市教育委員会は、2023年「Forbes JAPAN」にイノベティブな取組として選出されている。戸田市は、デジタル化で、データと、子どもの主体的な活動にこだわる。よくよく見ると、子どもの活動を可視化して、それを元に伸ばしていこうとする。当たり前だと思いながら、教育は経験則に寄るときがある。

日常の文化部の活動の一部を見せていただいた。吹奏楽部の個人練習、2人、1人、4人、お互いに注意しながら一つ一つ練習している。この後ろ姿が素晴らしい。富士宮分校の生徒の作品、3種類のカラフルな花は、一つ一つは印象が異なっているのに、全体として花にこだわった素晴らしい作品になっている。書道部の作品作りは、基本がマスターできて、自らの感性を注ぎ込んだ作品が次の段階でできるらしい。そして、ビジネス部は、放課後にも関わらず、自らの課題に向け、トレーニングしていた。本校では、教職員と生徒が、「学ぶこと」にこだわって、日々努力している。生徒の皆さん、「自ら」気がついて、「細部にこだわる」ことを学んでほしい。



吹奏楽部の個人練習



ビジネス部の練習



書道部の作品作り